

4 月 末 市 の 人 口	
人 口	42 585
男 女	20,454
世 帯 数	9,746
面 積	240.93 平 方 キ ロ メ ー ト ル

引越された時は
必ず
住民登録を

報 廣 大 洲 市 報

あおぞ

発行所
大 洲 市 役 所
編 集
総 務 課
(月 1 回 10 日 発 行)

6 月

すすむ農業構造改善事業

共同化でのびる所得

菅田地区にみる農業経営

「いまの農業だけでは食っていけないから……」といつてを多く耳にします。なるほど人手不足や、人なみの生活がでないなどの農業経営では、一本立ちしようとする感欲がわかないのも当然なことです。しかしこのうちには共同化などによつて、この道を打開しようと真剣に努力されているグループがあります。ここに菅田地区の一例を紹介しましょう。



菅田地区では昨年、八戸の農家で研究し、市に相談しました。市ではたまたま構造改善事業の計画を中心に行かして、いまの人手不足を補い、所得をふやすかについて、画立案中にもあつて、地元農家の意向を聞き、さつそくその計画書を作成、実行に移すことになつたわけですが、即ち、この地方で最も比重の高い養蚕と水稲の構造（しくみ）をかえて、余裕のできた労力を酪農の振興に振り向けるよう計画されています。

養 蚕

生産高においては現状を保持、とつて人手を減らす（省力）ことが必要かといふことです。いままで各戸ごとに飼育していた作の労力を大巾に省くわけで、共同化となつた宇津成見の壮蚕飼育所（上）で種モミの直まき試験（左）

事業所統計調査行なわる

七月一日、全国いつせいに

総理府統計局では、きたる七月一日現在で事業所統計調査を行なうことになりました。この調査は、全国のすべての事業所（商店、会社、事務所、学校、神社、旅館など）の状況を調査して、いろいろな統計表にまとめ



トラクターなどの大型農機を使用つて、水田に種モミをまかすために水直まき、先月阿蔵で行なわれました。この種モミの直まきは、いままで各戸ごとに飼育していた作の労力を大巾に省くわけで、共同化となつた宇津成見の壮蚕飼育所（上）で種モミの直まき試験（左）

酪 農

市農業構造改善事業費二億五千万円

酪農は、肉用牛の生産額が、二億に増加するおとで、全面共同化が行なわれることになれば、当然に法人化の問題もあつてくることとなります。市農業構造改善事業費二億五千万円

労力はぶく大型農機

阿蔵で 稲の直まき試験

農事試験場が行なつたもので、計画では十アール当り普通田でとり入れ、二千人役かかるころを五人役で済むことになつて、試験は整地、移植機による田植病虫害防除、刈取り、モミの乾燥まですべて大型農機により一貫作業を行なうもので、省力をめざす本市の農業経営に大きな示唆を与えるものと、その成果が期待されます。すずんで見せ、試験の結果や結果を見せたい、ものです。

県民税を還付

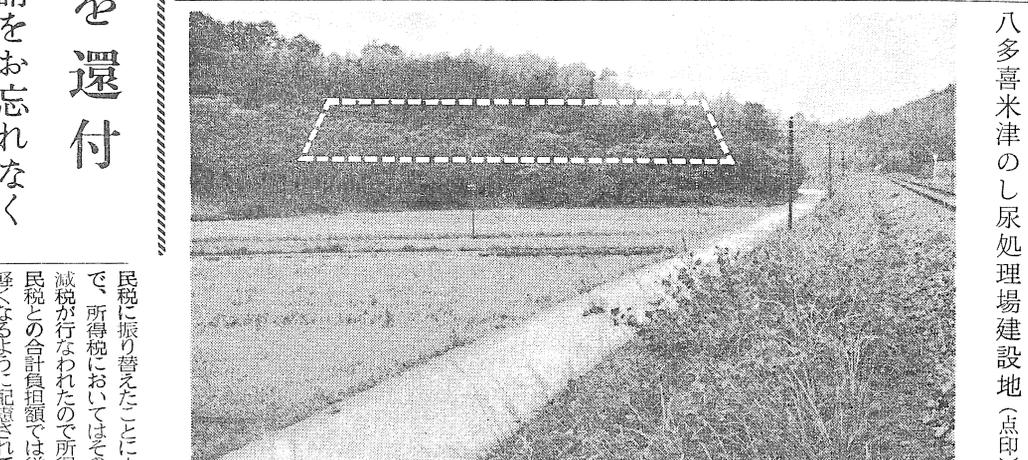
三十日 減額申請をお忘れなく

昭和三十六年度の所得税を納めた方、昭和三十七年度県民税は、従来より増加しましたが、これは税法の改正によつて所得税の一部を県に上乗せしたためです。昭和三十六年度の所得税を納めた方は、三十日までに減額申請をお忘れなく。

雨季の家畜衛生管理

わるい飼料に注意

- ① 畜舎の管理について
 - ① 畜舎の管理については、健康状態の観察を周到にするとともに、防鼠の投与、予防注射などにより、高くなるので、畜舎の通風、敷わら、ふん尿などの処理、排水、皮膚の手入れを励行し、新陳代謝の促進と皮膚病の予防につとめること。
 - ② 乳牛では、雪害による飼料給与の不足、運動日光浴などの不足による繁殖率低下の防止と、種付適期は確保につとめること。
 - ③ 外部寄生虫（ハエ、蚊、アブ）に際して日射を避け、皮膚病の予防につとめること。
 - ④ 病畜の早期発見につとめ、伝染病のつたがいがあつた時は直ちに関係機関に連絡してその指示を受けること。
- ② 飼料の給与について
 - ① 麦の赤かび病が各地に発生しているため、被かび麦については、取替えること。
 - ② 刈りだした青刈飼料やゆれた豆科植物の多給は鼓脹症、下痢の原因となるので注意すること。
 - ③ 倒伏、徒長した飼料作物はつとめてサイロへ詰め込み、養分の損耗を防ぐこと。
- ③ 豚丹毒が発生する懸念もあるので、残飯、生あらし等は必ず煮沸して与えること。



八多喜米津のし尿処理場建設地（点印）
大洲市と長浜町、内子町、五ノ崎町、阿蘇町が共同で設置しようとしているし尿処理施設は、その建設位置を市内五郎大谷地区に決定して、さる二月一日に起工式をあげ、工事を進めておりました。しかしながら、その後地元の方々の反対の意見表示もあり、県、厚生省をはじめ関係機関とも事務連絡を行ない、諸般の事情を検討した結果、市内八多喜地区の米津の奥道沿いに位置を変更することになったものです。
新しく決定した米津の現地ではさる五月三十日に起工式を行ない、工事に着手しました。
この工事の位置変更によつて、とくに工事の完成時期、事業費の増大など、ほとんどその影響なく、本年十一月中旬には、計画どおりし尿（化学）処理施設の先進地として米津処理場の完成をみることにできます。

きれいになった城山公園

健康都市づくりはじまる



上 肱川橋を歩く子どもたち
下 みんなで清掃 (城山で)

- ▽ 六月一日は「健康の日」
- ▽ 朝のさわやかな空気を吸って、体操、清掃、歩こう運動に参加した人たちはおおよそ三千人、健康都市づくりはまず好調なスタートでした。

さる四月二十日、健康都市を宣言して毎月一日を「健康の日」と決めましたが、各地ではそれぞれ思い思いの計画によって一日の日の行事を実施しました。

ちよと一日の朝は当地方にはめづらしい霧がなく、薄日をあびてすがすがしい空気を胸一つぱいに、こどもたちを先頭に、主婦、おとしりの一団が町はずれを歩くと、ある町内では、おあさんからおしりまで、野下を勢ぞろいしてラジオ体操、調子こそあつていないがなかなかのほりきりよう。また大洲中、大洲小両校の児童生徒とその父兄おおよそ二百数十名は、城山の清掃をしました。「健康なからだをつくるにはまず周囲をきれいに」というわけで、テニ、バケツ、カマを手にとって熱心に草やゴミをさる姿などはいずれも健康の日の朝にさわしい光景でした。ただこのつえは、この催しがこの日の行事にのみおわるのではないよう、また、町をきれいにするために「よきまなこ」「よきまなこ」方法も考えてみたいものです。

農事メモ

長雨により麦、なたねをはじめ、そま菜樹などに大きな被害を受け、養蚕などの被害もすくないものと思われ、市ではこれらの被害対策をたて各方面にはたきかけていますが、このような天災に對して、その被害を最少限にしたいとするのは、なんといつても農家自身の適切な技術的対策と努力です。豪雨につづく長雨と大澍だと思いが、農作物に對して次のこととがらに注意されるよう望んでいます。

- 一、麦など被害が多いので排水につとめる。また収穫にあたっては、共同作業で短期間にすませるようつとめ、乾燥機を最大に活用する。
- 二、水稲は苗がやわらかく生長しているのでイモ病、ウンカなどが大発生している。これには水銀粉剤五百倍液、ブラスエム剤、マラソン剤がよくつく。この場合合苗がやわらかくなっているのでD.C.P. 肥、M.C.P.C.A. などの除草剤は薬害がますます使用しないように。
- 三、野菜の葉が土についでいるときは、はなしてやり、また土のはねりを防ぐための敷わらをする。
- 四、病害が多くなるので薬剤による防除を怠らないように。
- 五、ハウス、トンネルは雨がやみしだい窓をあけて湿度を調節する。
- 六、柿や桃も雨に弱く病害に侵され易いので注意する。柿のタン病にはタイセン千倍液を、桃のソビ虫にはD.D.T. 水和剤五百倍液を散布する。

身体障害者の巡回検診など実施

七月十七日・大洲保健所で

身体障害児童及び身体障害者の福祉増進をはかるために、毎年実施されている巡回検診、療育指導更生相談が今年も七月十七日大洲保健所で行なわれます。

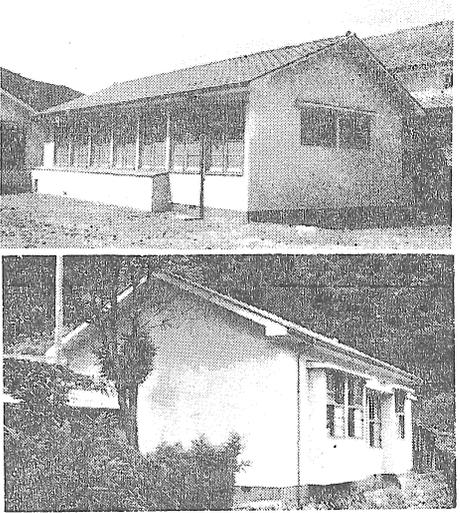
この巡回検診は、次の要領で身体障害児童の療育指導をはかるため、適切な療育指導を行なう身体障害者に対しては医学的、心理的、職能的診断を行なうことも、あわせて更生相談もいたします。

受診を希望される方は大洲市福祉事務所(市役所内)か、各連絡所へ申し出て下さい。ごくに先天然股関節脱臼や脊髄性小児麻痺疾患は、早く治療しなければその効果は期待でき難いものですが、その疑いのある方もぜひこの機会を利用して検診を受けられるようおすゝめいたします。その他この巡回検診についてのお尋ねがあれは福祉事務所へお問合せ下さい。

大成中 技術科など落成

大成中学校、蔵川中学校の技術科教室と蔵川小中学校の給食調理室がこのほど関係者と地方民の協力で完成。さる五月二十日と二十五日にそれぞれ落成式をあげました。

大成中技術科室 一五、五平方メートル (三五坪)
蔵川中技術科室 一五、五平方メートル (三五坪)
蔵川小給食調理室 五、一平方メートル (一坪)



ひろちゃん

いつも励行 手洗い うがい

早寝早起き 笑顔でくらす

健康

梅雨となりました。一年中一番疫病が多い季節です。皆さんも十分健康に気をつけて働きましょう。

伝染病のうち赤痢は、当地方にも多少ありますので注意しましょう。一存知のように、赤痢は赤痢菌による大腸の炎症です。赤痢にはこのほかに、アメーバによるものもありますが、普通はやるのは細菌性の赤痢で、三才一六才の小児でとくに症状のはげしいものを赤痢と呼びます。

赤痢は口からはいる病気で、患者が保菌者(最近ば菌状の菌が増加する個体がない保菌者が増加する個体があります)のふ便からの赤痢菌による汚染された食物や飲料水を食ったり、飲んだりした

赤痢

人がかかります。またハエが赤痢菌を体につけて飛びまわりひろげます。

予防法としては、①なまものを食べぬこと、②野菜は消毒し、③手を洗って食事をします。

治療法としては、抗生物質が有効ですが、最近使用されたために、菌の抵抗力の強いものが出てきました。

そのほか過労になり、季節ですから十分健康に気をつけられて、もし少しでも異常があれば、早く最寄りの先生に相談するようにいたしましょう。

大洲病院内科 部長

配電線にご注意

最近、家屋建築、修繕が目立つて増加していますので、四国電力では配電線附近の作業に対し、感電や停電事故を防ぐため、次のように市民の皆さまの協力をお願いします。

- 一、電気線の線路近で家屋を新築望んでいます。
- 二、電気の線路近で作業をするときは、電気の線に注意して作業物を振りまわしたときに触れるおそれのある場合とが、二メートル以内に接近するおそれがあるときは危険ですから、工事着手前に四国電力へご相談下さい。
- 三、家屋修繕などで屋内配線の移動が必要の場合は、事前に四国電力が電気工事者へ相談下さい。
- 四、作業中に付近の電線に触れないようご注意ください。
- 五、以上の三点に注意して下さい。

簡易保険料の払い込みは遅れないように

簡易保険の保険料は月掛けがたてまえですが、現在四千六百円という皆さんの契約のなかには、保険料の払い込みが月おくれとなつておられるものも相当あります。そしてそのためにせつかく不備として加入していただいた簡易保険が効力を失なつてしまつておられる方もあります。

そこで、郵便局では六月中旬を、保険料の月おくれ払い込みをなすよう、

夏の注意

暑さが増すにつれて、食中毒や細菌性下痢の発生が多くなります。食中毒は、細菌が食べ物の腐敗、温度(25度~40度)がたまり、湿度(25度~40度)がたまり、細菌の繁殖によるものがあることが条件です。困ったことに六月はこうした条件が季節的にあてはまるのです。「もつたないから」と残りのものを食べないようにし、共同炊事の時は、特に新鮮な材料を使いましょう。

暑さが増すにつれて、たまり水はクレソールせつけん液が逆せつけん液でふき、晴れ間は窓を押し入れも開け放つて風を通します。台所の戸たなは熱湯でふくなど、すべてを清潔にしましょう。また雨どいに散った木の葉をとり除いたり、庭に排水路を作ったり、家の周囲のぬかるみに石灰ガラをまいたりすることは、夏の晴れ間の仕事です。